

シルバーおがわ 35号

2020年(令和2年) 8月1日号
(毎年2月・8月発行)

30周年記念号

シルバー人材センターの理念 自主・自立・共働・共助

発行

公益社団法人

小川町シルバー人材センター

〒355-0327 小川町大字腰越239番地1

☎0493-72-3448 FAX 0493-72-3431

E-mail: ogawa-ko@saturn.plala.or.jp

H.P: <http://www.silver-brain.com/saitama/ogawa/>

定時総会開催

定時総会概要

令和2年度定時総会が、6月19日「リリックおがわ」で開催されました。例年、来賓として小川町長並びに町議会議長様にご出席を賜りましたが、今回は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、ご案内を控えさせていただきます。

総会会場では、感染防止対策を講じながら、密室・密集・密接を避け、マスク着用、消毒・換気・社会的距離の確保を実施し、また、出席者につきましても自粛させていただいた関係上、役職員を含め少人数での総会となりました。



理事長の開会宣言に続き、岸野事務局長より、出席会員数（委任状及び議決権行使書を含む）は

208名で定足数を満たし、総会の成立が宣言されました。

議長に中西副理事長が選出され、議事に入りました。

始めに、報告事項として、令和元年度補正予算、監査報告、令和元年度事業報告、令和2年度事業計画及び収支予算、次に議案として令和元年度収支決算及び役員を選任について提案され、いずれも原案どおり可決承認されました。

定時総会挨拶



理事長
原 久夫

令和元年度の事業の運営状況ですが、健全で持続可能な運営を目指し、会員の増強、就業機会及び財源の確保を施策の軸として推進してまいりました。しかしながら会員数は昨年度に比べ、やや増加したものの就業機会の指標である就業延べ人員、及び契約金額は、残念ながら減少となり、経営的視点からも損益額がマイナスとなりました。今後は、しっかりと現状を見据え、粘り強く諸施策を推進するとともに、新たな取り組みを行っていかねばならないと考

えます。

新型コロナウイルス感染拡大が先行き不透明な中、会員の皆様、役員一同におかれましては、第一にお体をご自愛いただくとともに、格段のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

表彰

会員として、20年・15年及び10年の永きにわたり、その豊かな経験と知識を発揮しセンターの発展振興に寄与されその業績が認められた皆様に対し表彰状並びに記念品の贈呈が行われました。

表彰者の皆さん、今後さらなる活躍をご期待申し上げます。誠におめでとうございました。

入会后20年を経た会員

岡本 守夫 水上 雪男
中島 武 笠原 昭
大島 一郎

入会后15年を経た会員

安藤 正一 嶋田マサ江
高橋 芳宣 高橋 廣子
丸山 勝男

入会后10年を経た会員

秋山 秋久 吉田 重次
石川 正 柿本 信行
矢ヶ部 進 倉増 征
福田 泰栄 斉藤 治子
半澤 義一

新役員一覧

代表理事 岸野 敏彦	理事 荒井 基明	理事 青木 祐子	理事 山口 孝二	理事 田端 文夫	理事 糸井 慎	理事 笠原 勝彦	理事 鷹尾 民江	理事 下山由記子	理事 檜山 憲二	理事 田中 良	専務理事 千野 雅裕	監事 飯野 豊司 吉澤 章
理事長	区長 会長	老人クラブ連合会長	広報 担当	地域班 担当	職域班 担当	福利厚生 担当	福利厚生 担当	福利厚生 担当	安全適正 担当	安全適正 担当	事務局長	

(敬称略)

尚、任期は令和4年定時総会まで

新任役員紹介

総会において、新たに役員に選任された方々です。



糸井 慎



鷹尾 民江



田中 良



千野 雅裕



吉澤 章

*前期まで務められました役員の方々には、大変お疲れ様でした。
(退任者)

理事 原 久夫 松本 研二

則松 尚子 清水 秦子

監事 金親 弘育

退任挨拶

原 前理事長

この度、11年間という永きにわたりお世話になりました理事長職を退任することとなりました。

この間、役員及び会員の皆様に温かいご支援・ご協力をいただきながら、その職を終えることができましたことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

センターを取り巻く環境は日々刻々と変化していますが、諸先輩が築いたこの伝統あるセンターの更なる発展のため、皆様が一体となって取り組んでいかれることにご期待申し上げます。今後は顧問として努めてまいりますので、変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願いいたします。

新任挨拶

岸野新理事長

令和2年6月19日より、不肖私にが公益社団法人小川町シルバー人材センターの理事長に就任しました。大役を仰せ付かり、改めて身の引き締まる思いですが、微力ながらセンター事業発展に努めたいと思っております。

理事会報告

令和元年度第3回

開催日 令和元年1月24日

一、議事

- (1) 専決処分の承認の件
職員給与規程の一部を改正する規程
- (2) 新会員の承認の件
- (3) 記念事業積立資産の取崩しの件

二、協議事項

- (1) チェーンソーの取り扱いの件

三、報告事項

- (1) 令和2年度就業先の申込状況
- (2) 各委員会の経過報告

令和元年度第4回

開催日 令和元年3月17日

一、議事

- (1) 令和元年度補正予算(第2号)の件

- (2) 令和2年度事業計画の件
- (3) 令和2年度収支予算の件
- (4) 新会員の承認の件
- (5) 利益相反取引の件

二、報告事項

- (1) 理事長、副理事長及び専務理事の職務執行状況報告
- (2) 継続就業会員の期限満了に伴う就業者の決定
- (3) お客様満足度調査報告



令和2年度第1回

開催日 令和2年5月22日

【書面議決】

一、議事

- (1) 専決処分承認の件
未収債権の処理
- (2) 専決処分の承認の件
令和元年度補正予算
(第3号)
- (3) 令和元年度事業報告の件
- (4) 令和元年度収支決算の件
- (5) 令和2年度補正予算
(第1号)の件
- (6) 役員選任の件
- (7) 新会員の承認の件
- (8) 令和2年度定時総会開催の件
- (9) 表彰対象者承認の件

令和2年度第1回臨時理事会

開催日 令和2年6月19日

一、議事

- (1) 正副理事長及び専務理事の選任の件
原理事長の後任に岸野敏彦理事、中西理事は副理事長として再任、岸野専務理事の後任に千野雅裕理事が選任されました。なお、原前理事長は顧問として、千野雅裕専務理事は事務局長兼務となります。

事務局からのお知らせ

就業相談

会員の就業先での相談ごとや未就業会員の方への就業相談を行っています。

相談日 毎月第2・第4火曜日

午後から

場所 センター事務所2階

※就業相談は予約制となっており、希望する方は予め事務局までご連絡ください。

入会説明会

令和2年度より、毎月1回の開催から偶数月に限って月2回開催
開催日 毎月第2火曜日 但し
偶数月は第2・4火曜日

時間 午前10時〜

場所 センター事務所 2階

第17回シルバールおがわ創作展

第17回シルバールおがわ創作展

開催期間 10月29日(木)〜

開催場所 パトリアおがわホール

開催場所 パトリアおがわホール

開催場所 パトリアおがわホール

開催場所 パトリアおがわホール

開催場所 パトリアおがわホール

開催場所 パトリアおがわホール

開催場所 パトリアおがわホール

開催場所 パトリアおがわホール

令和元年度事業実績の概要

令和元年度末の会員数は282人(前年度比4人増)、また就業状況において、就業率は75.7%(前年度比7.4%減)、年間受託件数では、個人が若干の伸びを示したものの、民間は昨年度に比べ19件の減となりました。契約金額は、公共・個人とも増加となりましたが、民間は昨年同様に減少となりました。

一方、派遣事業においては、契約案件数が1件増えたことにより、契約金額は約83万円の増となりました。

続いて会員の平均年齢ですが、72.4歳と前年度と比べ0.3歳高くなっており、会員の高齢化が年々進んでいます。

会員数が減少する中、センターの発展のためには、会員数の拡大は必要不可欠ですので、皆さんの友人や地域の方々にセンターへの加入の勧誘をお願いします。

令和元年度正味財産増減計算書比較表

(単位：千円)

科目	元年度	30年度	前年差
経常増減の部			
経常収益			
受託事業収益	112,229	122,596	△10,367
労働者派遣事業受託収益	737	765	△28
受取会費	586	602	△16
受取補助金等	18,400	19,200	△800
その他収益	90	59	31
経常収益合計	132,042	143,222	△11,180
経常費用			
事業費	130,876	141,427	△10,551
管理費	4,543	4,470	73
経常費用合計	135,419	145,897	△10,478
当期経常増減額	△3,377	△2,675	△702
経常外増減の部			
経常外増減額	11	8,649	△8,638
一般正味財産期首残高	22,905	16,931	5,974
正味財産期末残高	19,539	22,905	△3,366

令和元年度 事業実績比較表

会員数・受託件数

区分	会員数(人)			受託件数(件)			
	男	女	計	公共	民間	個人	計
元年度	216	66	282	71	271	1,136	1,478
30年度	210	68	278	71	290	1,073	1,434
前年差	6	△2	4	0	△19	63	44

契約金額・就業実人員・就業延人員・就業率

区分	契約金額(千円)				就業実人員(人)	就業延人員(人)	就業率(%)
	公共	民間	個人	計			
元年度	40,278	46,695	25,256	112,229	206	21,632	75.7
30年度	39,466	59,291	23,839	122,596	231	24,859	83.1
前年差	812	△12,596	1,417	△10,367	△25	△3,227	△7.4
(%)	2	△21.2	5.9	△8.5	△10.8	△13.0	△8.9

会員の年齢別、男女別の状況

性別	60歳～64歳		65歳～69歳		70歳～74歳		75歳～79歳		80歳以上		計		平均年齢 歳
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
男	13	6.0	49	22.7	84	38.9	46	21.3	24	11.1	216	100.0	72.5
女	6	9.0	18	27.3	21	31.8	17	25.8	4	6.1	66	100.0	71.8
計	19	6.7	67	23.8	105	37.2	63	22.4	28	9.9	282	100.0	72.4

【地域班】

地区	班	担当地域	班長	地区	班	担当地域	班長
小川	1班	本1・本2・仲町・稲荷町・錦町・神明町・下小川1～3・ダイアパレス・ホーユーパレス・池田(小川)	藤野 兼次	大河	1班	腰越1～2・腰中・腰上	田端 文夫
					2班	青山・飯田・増尾・古寺	田口 茂雄
	2班	大塚1～4・相生町・大関町・松若町・緑町・旭町・幸町・栄町・春日町・コスモ小川町	小澤 秀作	八和田	1班	上横田・下横田・中爪・奈良梨・能増・高見・前高谷・中高谷・後伊・高谷南・西古里・中爪グリーンヒル	田中 良
					竹沢	1班	原川・笠原・靱負・木部・深田・下勝呂・上勝呂・木呂子
	3班	角山中・上・池田(角山)・下里・みどりが丘(県営団地含む)	中西 貞夫	東小川	1班	東小川1～6	金親 弘育

【職域班】

職域班名	就業先・他	班長	職域班名	就業先・他	班長
植木1・2班	緑地作業	檜山 憲二	民間3班	民間企業等清掃	糸井 慎
草刈班		吉田 重次	公共1班	総合運動場管理等	川端 生二
除草班		吉田 良子	公共2班	総合福祉センター(夜間管理・清掃)	本多 正臣
技能・技術班	書道・大工・塗装・襖障子張替等	松本 実	公共3班	図書館清掃	田沢咲代子
民間1班	病院・特別養護ホーム施設管理	市村 藤吉	公共4班	公民館等管理	山口 孝二
民間2班	民間工場内作業	秋山 秋久	公共5班	役場駐車場管理 他	石川 佳右

設立30周年記念

設立30周年を迎えて



理事長
岸野 敏彦

公益社団法人小川町シルバー人材センターは、平成2年3月に小川町高齢者事業団として発足して以来、今年で30周年を迎え、このたび記念事業の一環として、記念号を発行する運びとなりました。

私は、本年6月より当センターの理事長として就任いたしました。これまでの長い道のりにあつては、幾多の困難な状況に直面することもありましたが、歴代の理事長、役員及び会員のたゆみないご努力により、今日では、会員数280人余り、契約金額で1億2千万円余の実績を上げるまでに発展をとげることができました。皆様方には、心から敬意と感謝を申し上げます。

とりわけ、当センター活動趣旨にご協力をいただき、ご指導、ご支援をいただいております小川町をはじめ、関係機関、町内事業所及び町民の皆様に厚く御礼を申し上げます。

さて、国内経済は、緩やかな回

復基調にあるものの、実質的な経済不況や高齢化社会の進展に伴い、国では、「生涯現役社会」の実現に向けた取り組みが進められており、センターが担う役割に対する重要性和期待は、ますます高くなつてきております。

当センターでは、このような期待に応えるべく、いま一度「自主・自立・共働・共助」の基本理念に立ち戻り、会員の確保、就業機会の拡大、及び健全な事業運営を推進し、より地域に根付いたセンターを目指してまいります。

今後、「働き方改革」の一環としての定年制度の延長などにより、高齢者の働く環境等の変化に応じて、センターを取り巻く環境が変わってくるものと考えられるところでございます。当センターといたしまして、経済状況や高齢者の働く環境等にしっかりと対応し、会員の皆様が健康で生きがいを持ち、安心して就業できる事業運営に努めてまいります。

結びに、会員並びに関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸お祈り申し上げます、ご挨拶といたします。

設立30周年に向けて



小川町長
松本 恒夫

公益社団法人 小川町シルバー人材センターが、設立30周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、会員の皆様におかれましては、日頃から町政運営にあたり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴センターにおかれましては、平成2年の設立以来「自主、自立、共働、共助」の基本理念のもと、着実に事業実績を上げつつ、就業機会を提供することにより、高齢者の豊富な知識や経験を活かした地域づくりを進めてこられました。これはひとえに、歴代理事長をはじめ役員並びに会員の皆様方のご尽力の賜と、深く敬意を表する次第であります。

数多くの仕事や、地域からシルバー人材センターへ寄せられていることは、会員の皆様方への信頼の表れであり、何よりも誇れる勲

章ではないかと存じます。

さて、日本の少子高齢化が年々加速しているなか、高齢者が生涯現役として様々な形で社会参加することが求められております。本町における活力ある高齢社会を支える中心的な組織として、シルバー人材センターの担う役割は、一層重要なものであると考えます。

町といたしましても、高齢者が豊かな知識や能力を活かし、地域社会を支える一員として、健康で生き生きと暮らすために、自主的、自発的に就業、ボランティア活動、地域活動、文化教養活動など、幅広く地域社会に参加・貢献していただけるよう、今後ともシルバー人材センターの運営を支援して参りたいと考えております。

結びに30周年の節目を契機とされ、小川町シルバー人材センターが就労の機会の拡大を図りながら、地域社会へ益々の貢献をされますようご期待を申し上げますとともに、関係者並びに会員皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。お祝いのことばといたします。

小川町シルバー人材センター30年のあゆみ

バブル景気も終わりつつ、また高齢化社会の到来が深刻化してきた平成2年3月31日に高齢者の「生きがいと自立」のための対策として任意団体である小川町高齢者事業団が発足されました。

当時、元町長の松本繁夫氏が初代理事長となり、埼玉県及び町の指導を受け地域で働く意欲のある健康な高齢者の自主的な組織として45名の会員により、事業が開始されましたが、実績もその知名度もなく、初年度の受託事業収入は622万円でした。

事業団は、地域社会に開かれた団体として高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業機会を確保し、会員の生きがいの充実、健康維持、及び生活の安定を図りながら地域に貢献すべく活動を着実に進めてまいりました。

その間、組織の母体である理事会及び事務局体制が強化され、会員のための職種別の技能講習会の実施、就業開拓専門員の配置などにより、就業の拡大が図られてきました。

平成14年10月1日には、高齢者事業団から法人格を有した社団法人小川町シルバー人材センターと

して設立されました。センターでは、さらなる組織強化を目的に、平成15年度から16年度にかけて、広報委員会、創作実行委員会などが設置され、また、普及啓発活動として広報「シルバーおがわ創刊号」の発行、「第1回創作展」などが行われてまいりました。

このような状況下、社会の高齢化はますます進展し、センターに対する期待も増大してきている中、事業活動は順調に増大してきました。

平成20年には、公益法人制度改革法が施行され、平成24年4月1日に、当センターも公益法人へと移行することとなり、公益的かつ公共的な法人として位置づけられることとなりました。

さらに、国の施策である派遣事業も平成28年度より開始され、関係機関の協力のもと順調に実績を伸ばしてきております。

近年、働き改革等による定年制の延長などにより、会員数の増加の鈍化、会員の高齢化及び希望職種のマッチング等、新たな課題が出てきていますが、今後も地域から信頼され、高齢化社会の重要な役割を果たすべく、活動を続けてまいります。

10年間の実績表

(平成22年度～令和元年度)

年度	会 員 数			就業実人数	就業延人員(人日)	受託件数	契約金額(千円)			
	男	女	計				配分金	事務費	材料費	合計
22	248	79	327	268	26,753	1,207	121,127	9,352	7,850	138,329
23	240	78	318	265	26,651	1,232	120,869	9,601	8,415	138,885
24	247	83	330	274	29,435	1,273	127,973	9,945	8,181	146,099
25	246	78	324	298	32,072	1,314	138,563	11,100	6,777	156,440
26	238	82	320	274	32,052	1,328	140,127	11,348	6,218	157,693
27	255	80	335	283	31,502	1,450	136,788	11,093	7,309	155,190
28	233	74	307	273	31,453	1,480	135,853	11,463	7,536	154,852
29	249	73	322	266	31,767	1,511	139,979	11,798	7,049	158,826
30	210	68	278	231	24,859	1,434	105,920	9,076	7,600	122,596
元	216	66	282	206	21,632	1,478	94,150	9,366	8,712	112,228

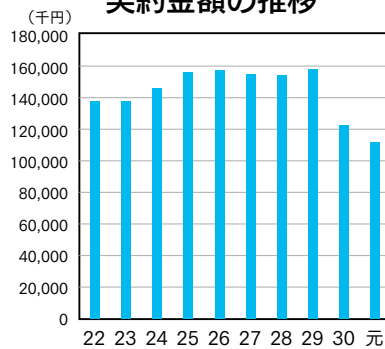
シルバー派遣事業実績

(平成28年度～令和元年度)

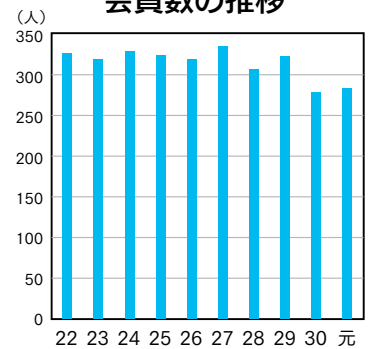
年度	契約実件数(件)	就業延人数(人日)	契約金額(千円)		
			賃金	手数料等	合計
28	3	445	1,111	329	1,440
29	2	177	518	143	661
30	3	1,256	6,426	1,845	8,271
元	4	1,286	7,088	2,012	9,100

※シルバー派遣事業は、平成28年度より開始されました。

契約金額の推移



会員数の推移



働いて思ったこと



則松 尚子

福岡県から小川町に引っ越して三年が過ぎた頃、私にも役立つことがあれば働いてみようかなと思おうようになりました。福岡県でヘルパーの経験がありましたので、介護の仕事を探していた時、シルバー人材センターで介護の仕事があることを知り相談に行き、特別老人ホームを紹介していただき働き始めました。

そこでは、いろんな方が入所しておられ、皆さんと少しづつ仲良くなりました。その中には、小川町で生まれ育って生糸で布を織る仕事に長年携われた方がいらっしやいました。その当時の仕事の大変さを聞き、他人には分からない大変な人生があったのだなと思えました。又、ある男性の方は、自分が退職した後、自分だけの楽しみを見つけて外に出かけ、奥様のことは気にもかけず、奥様の体が不自由になられた時、本当に申し訳なかったと話しておられました。このようにして、介護の仕事を通じ、人生の先輩方と巡り会う

ことができ感謝しています。

又、公民館の管理の仕事もしました。その時小川町の行政に携わることが出来、七夕まつりの時には、その歴史を教えてもらったり、小学生の描いた絵を壁に貼ったりお手伝いをしました。他に公民館の仕事として、講座申し込みの受付もありました。講師の方々が教えておられることを見たりしましたが受講生の皆さんは、楽しそうにしておりました。

シルバー人材センターの仕事を通じて、いろいろな方にお会い出来、充実した時間を送ることができました。

健康に感謝



樺澤 康弘

二年前、人材センターの総会において、入会十五周年の表彰を受けました。その時、御礼の挨拶で「健康だったので、今日まで、会員として続けることができました。」と話したことを記憶しています。

入会当初、私は、透析患者さんを迎える業務に就いていました。患者さんは、週3回4時間の透析を受けていました。飲み物は、

満足のいくまで飲むことは、出来ません。口や咽をほんの少し潤す程度で我慢しなければならぬのです。大変な病気で、「私などにはとても耐えきれない事」だと痛感しました。

子供のころの私は、よく腹痛をおこして、母に連れられて、近所の病院に通っていましたが、現在の私は、体力向上のためのスポーツもしていませんし、特に節制をしているつもりもありませんが、ほとんど風邪もひかなくなっています。傘寿を迎えようとしている現在まで三日以上入院したのは、一度だけ（それも原因は不明）で今は何ともありません。健康でいられる事は、当たり前ではないので、まさに感謝です。

今年には新型コロナウイルスという、目に見えない「敵」が世界中で猛威を振るっています。三密を避け、マスク着用とこまめな手洗いが重要だとされています。今まで、当たり前のようにやれてきた事が、とても有り難いことだったと痛感せずにはられません。

ウイルスを正しく恐れて感染しないように注意して、一日も早い終息を願うばかりです。健康に感謝しながら向後の人生を謳歌したいと思います。



植木剪定講習会



応急処置講習会



ボランティア活動



グラウンドゴルフ大会

編集後記

30周年記念を迎え、先輩方に敬意を表し、また、会員の皆様に感謝申し上げます。

広報委員は、現在5人で力を合わせ活動しています。今後も会員のご協力の程宜しくお願い申し上げます。

委員長 山口 孝二

楽しみにしていた七夕祭りが中止になってしまいました。代わりにこの30周年記念号をお楽しみいただけましたでしょうか？

副委員長 山口 昇

30周年を祝すとともに就業志望高齢者の支援機関として今後さらなる充実・発展を、お祈りします。

神保 貞男

いろいろな困難を経験してきた私達、ウイズコロナの新時代をシルバーパワーで乗り越えましょう。

小野塚 一

主に23号〜34号表紙撮影を担当。モノクロからカラーに、レイアウトも額縁から1頁前面に。本号も含め多くの会員の方々のご協力に感謝申し上げます。

藤野 兼次